

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	泉南市子ども総合支援センター（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団でのグループ活動を中心に個々の課題にそって、グループ活動内容（療室以外の遊戯室や所庭なども利用）や個別活動等、子ども達の状況に合わせて柔軟な対応ができるよう療育に取り組んでいます。	・子ども達の様子やニーズにあわせて療育内容を個別活動やグループ活動（友達と協力して行う活動等）等、工夫を行っています。	・子ども達の様子やニーズを保護者の方と確認しながら、今後も療育内容を工夫していきます。
2	・送迎時には必ず保護者の方と子ども達の家庭や学校等での状況を聞き取り、職員間や保護者の方と連携できるよう情報共有を行っています。情報共有で知り得た情報を踏まえて療育を行っています。	・保護者の方より家庭や学校での様子を聞き取りし、気になることがあれば連絡していただいています。また療育中にあった出来事は必ず共有するようにし、今後につなげられるように取り組んでいます。	・より職員間の情報共有や保護者の方と連携できるように送迎時以外にも懇談やその他面談を実施したり、またICTシステム（コドモン）の活用も行っていきます。
3	・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理師・発達相談員・看護師等の多職種で考え合い支援を行うことで、多面的な視点でのアセスメント・評価や支援を提供しています。	・療育を行う中で改善点・疑問点や支援内容の見直し等がある場合は各専門性の意見を聞き検討を行っています。	・研修等でそれぞれの専門性のスキルアップを行いながら、今後も各専門職のアセスメントを参考によりよい療育に繋がっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設内の環境整備が必要な箇所がある。また、低年齢の子どもの物が多い。	・施設が古い。就学前の子どもに合わせた物が多くなってしまっている。	・建物については危険が無いよう、今後もその都度、市に依頼し修繕を行っています。また修繕以外にもステップ台やパーティション等を活用して今後も子ども達にとって安心して生活できるような環境づくりを工夫します。また、子ども達に合った物も必要に応じて揃えていきます。
2	・地域交流や屋外活動の場が少ない。	・利用している子ども達での小グループ療育のプログラムと	・子ども達の様子や小グループ活動の目的に応じて、施設職員以外の人との交流や屋外活動等を検討していきます。
3	・保護者の方への情報伝達が不十分な事がある。	・災害や火災・不審者等の各訓練や感染症・事故防止等の各種マニュアルを閲覧できるように設置したり、訓練実施の貼り紙を行っているが全保護者に伝わっていない。	・より分かりやすい掲示方法とICTシステム（コドモン）の活用の充実を検討していきます。